

アービタックス+イリノテカン療法

FN 低:催吐性 中
診断名:EGFR 陽性進行・再発大腸癌

○投与スケジュール (1 コース 28 日)

Day1、8、15、22(点滴):アービタックス div 250mg/m²

400mg/m²(初回投与のみ)

Day1、15(点滴):イリノテカン(CPT-11) div 150 mg/m²

Day2~3、Day16~17(内服):デカドロン8mg 分2朝・昼の内服投与

○注意事項

特有の有害事象:インフュージョンリアクション 10%程

皮膚症状(ざ瘡様皮疹、爪囲炎等) 80~90%

下痢 50%、電解質異常 30~40% 他

頻度が少ないが注意を要するもの:間質性肺炎、眼障害、心障害

インフュージョンリアクション

多くは初回投与中又は投与終了後1時間以内に出現

インフュージョンリアクションのリスクがなければアービタックスのみの投与日はステロイド不要

皮膚症状: 顔面、胸部、背部、腕等に好発、3週間以内の発現が多い。皮膚科医師にコンサルトする。軽度ではロコイドクリーム及びダラシン T ゲルを局所に塗布。全身性になればミノサイクリン 100mg1日2回点滴。

2019 年 9 月 2 日より施行

#

アービタックス、ベクティビックスの 皮膚障害を軽減する薬セット

★予防のミノマイシンについては、主治医の判断で処方をお願いします。また、処方される場合は2週間程度の処方とし、定期的な採血と副作用のチェックをお願いします。

＜ 予防または治療に使用する薬 ＞

Rp1. ミノマイシン錠 又は ミノマイシンカプセル
1回 50 mg 1日 2回 朝夕食後(治療当日より)

1回 14日分程度処方し、定期的な副作用チェックをお願いします。

[相互作用]: 金属カチオン(Mg, Ca, Al, Fe 等)と同時服用した場合、キレート形成しミノマイシンの薬効が低下します。2時間程度ずらして服用すれば大丈夫です。同時服用薬剤にご注意をお願いします。

Rp2. ヘパリン類似物質クリーム 又は
ビーソフテンローション
1日 2～数回 乾燥しているところ(治療当日より)

＜ 症状が出たら使用する薬 ＞

Rp3. ロコイド軟膏(マイルド)
1日 2回 朝夕 顔

Rp4. マイザー軟膏(ベリーストロング)
1日 2回 朝夕 顔以外